

江
海
集
卷
之
一

[illegible]

賦白
古非
言方

高要之仙言
各溪山下
下家私兒

移家細言之
下家私兒

下家私兒

但云男行一長據家不
社長啟其意要與行
行遠行長

此は、
おまへに
礼を申し
解し人
道に達

而此

是之西也。孰能知其然哉。下等之民。

22

原正
正心廣之志與
步以行遠
世親良

卷之八

停

[illegible]

高麗王三子之遠近殊衆者。乃一不亡。

趙下字社名安無一版之人趙以道不
社名安無一版之人趙以道不

のけい
位
記
名

堂上同飲

此下及人 旗本 乙亥沈家才

但傳時同

[illegible]

21-

冥白 太極 玄方

大南沙官、山、海、河、下、良、家、要、大、中、
仙、公、木、友、下、木、寧、和、平、八、下、家、和、平、年、

他二所之出入と各ハリと通て五社を考へ年
一拾歳と大中納とハ

大沙方少乃...
果乃遠記長平半

大正九年五月廿一日

但云「龍虎」二字、抑亦「市井」之語、
豈非「腐」之「要」乎、

孝子公卿

但如年、亦要了良、以秋底、年

秀乃一居士
 是乃名は乃道
 乃乃乃乃乃

西

是とておぼろしき年安けり
 下あはれなり

王任考

松家

[illegible]

松溪張氏
林向海
文西

英軍艦隊の来りて、今あるところ、くさくさ、水、浅、な、る、處、に
日軍人、くさくされ、平、平、肌、肌、と、う、け、合、を、と、り
て、う、た、た、せ、と、く、思、ふ、が、——い、ろ、と、思、ふ、あ、つ、英、人、も
く、さ、と、移、り、う、へ、な、る、と、思、ふ、人、も、お、お、思、ひ、に、て
お、ま、い、ぬ、家、に、も、な、り、た、ら、う、と、思、ふ、人、も、お、お、思、ひ、に、て
日軍人、くさくされ、平、平、肌、肌、と、う、け、合、を、と、り
て、う、た、た、せ、と、く、思、ふ、が、——い、ろ、と、思、ふ、あ、つ、英、人、も
く、さ、と、移、り、う、へ、な、る、と、思、ふ、人、も、お、お、思、ひ、に、て
お、ま、い、ぬ、家、に、も、な、り、た、ら、う、と、思、ふ、人、も、お、お、思、ひ、に、て



蘇州府志卷之四

長州
例
司
人

欲報之慈母未安向羞羅帶手執琴

一、
あつたは
いふとて
むねを
しる



印事人七人ありて
ふらぬていふは
ふらぬていふは
ふらぬていふは
ふらぬていふは
ふらぬていふは
ふらぬていふは
ふらぬていふは

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

三力廿丁

長三二日

廿六所

蔵

大、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

長崎大学附属図書館経済学部分館武藤文庫所蔵

印事所人七人ありて
各各其任ありて
又其より同人ありて
之より而も其れより
之より而も其れより

長崎大学附属図書館蔵
武藤文庫蔵

東松隆(前)より

三カサ丁 紙師

長三三

珍本国蔵

長崎縣國有文庫
長崎市立中央図書館蔵
長崎市立中央図書館蔵

長崎県人少くあれども
又其れより其れより